

藻岩

題字 鈴木 紫石

発行所
藻岩地区町内会連合会
もいわ地区センター内
電話・FAX 572-9460
発行人 村上 剛
編集 広報部

印刷 山王グラフィック



ご挨拶

藻岩地区町内会連合会

会長 村上 剛



今年も、はやくも残すところわずかとなりましたが、会員のみなさまいかがお過ごしでしょうか。先般私の町内会の行事で、今年4月にリニューアルされました札幌市青少年科学館を見学する機会がありました。青少年対象の科学館ですが、高齢者にも子ども向けの説明でわかりやすく、私も童心にかえり楽しんでまいりました。

特に、8個の太陽系惑星模型は、実際のスケールの約7千万分の1の

大きさに設計されており、地球は、他の惑星と比較し可愛い程小さく、まさに「地球は青かった」のイメージでした。今この地球を取り巻く環境が、地球温暖化により脅かされています。北海道では、2023年6月23日に設立した21機関で構成されたエネルギーGX化に向けた「Team Sapporo. | Hokkaido」が立ち上がりま

した。まずは、私達が出来る範囲から取り組み、未来の子ども達のためにも、「森羅万象」綺麗な地球を守りたいと思つた一日でした。

さて、本年度も9カ月が経過し、当連合会で計画しておりました行事が、皆様のご協力で予定どおり終える事ができました。特に夏の最大のイベントであります「第55回もいわ夏まつり」は、会場の藻南公園を埋め尽くす人で大盛況でした。

これから後半は、年明けの、冬の

フェスティバル「第20回アイスキャンドル」を1/25〜1/26に開催いたしますので、是非、参加する町内会のアイスキャンドル会場に足を運ばれてはいかがでしょうか。

ここ数年で、やっと当連合会や各町内会、自治会の行事が、コロナ禍前に戻ってきたように感じています。しかしそのような中で、もいわ夏まつりを取り上げましても役員の高齢化による、スタッフ不足が顕著になってきました。また今後連合会や各町内会、自治会の活動を運営していく中で、役員の成り手が不足し、これは当連合会のみならず深刻な社会問題になっております。

みなさん、地域活動の活性化のために、連合会行事でのボランティア活動を通し一緒に参加し楽しみませんか。

そこで、当連合会では、この度の役員の選任に向け、5町内会の会長で構成する人選委員会を立ち上げました。今年空席となっておりました会計部長をこの度選任することとなりました。人選委員会の皆様の尽力に感謝申し上げます。会員の皆さまには、自薦他薦を問わずに、連合会の活動を活性化して行くために、是非一緒に活動して行くスタッフをお

待ちしております。

会報「藻岩」第77号の「町内会・自治会だより」を除く、各行事の記事は、皆様もすでにご覧になられていると思いますが、当連合会ホームページ「もいわ暮らし」に公開している「もいわ塾」の塾生による取材記事から引用しました。
塾生の頑張りをあらためてご覧ください。



令和6(2024)年 夏の交通安全 街頭啓発を実施

令和6(2024)年7月17日(水)、藻岩地区町内会連合会が主体となり、川沿8条2丁目の国道交差点周辺にて夏の交通安全街頭啓発を行いました。

地域の交通安全運動の一環として行い、総勢86名の参加者は「スピードダウン!」と書かれた黄緑色の旗を持ち、国道230号を走る車の運転手らに交通安全の重要性をアピールします。



活動開始のあいさつでは、藻岩地区町内会連合会の交通安全部長・岡行雄さん司会のもと、大谷聡美南区長、南警察署の後藤交通一課企画係長よりそれぞれ啓発に向けたメッセージをいただきました。

大谷聡美南区長



「いよいよ行楽のシーズンに入り、子どもたちも間もなく夏休みに入ることとなります。これからの時期はちよつと遠くにお出かけしたり、人が集まつたり、お酒を飲んだり、そういった機会が増えてくると思います。どうしても気持ちが変わるみがちになるといところで、交通安全の啓発は本当に大切な時期ではないかと思っております。

南区では、4月に交通事故死ゼロを500日を達成したところなんですけど、残念ながらその後、5月6月、そしてつい先日の7月と、交通事故死が発生しているような状況でございます。どうか皆様におかれましては、いま一度、ご家族の中で、職場の中で、お知り合い同士で、交通安全について声を掛け合つて、皆で交通安全を守つて行けたらと思います。

結びになります。南区としては、これからも交通事故のない安心安全

なまちづくりを皆さんと一緒に進めていきたい、そのように思っております。宜しくお願い致します」

南警察署 後藤交通一課企画係長



「道内のケガのある交通事故の発生状況ですが、昨年と比べると減少傾向にあります。南警察署管内においては微増しております。

また6月29日にはアパホテル前で、車道を走行していた自転車その後ろから来た車と衝突する事故により自転車の方が亡くなる死亡事故が発生しております。

更に7月13日には、国道230号の石山地区で車と歩行者の事故で、歩行者の方が亡くなっております。これからの時期は気温が上昇しますので、運転する際は、暑さ対策を十分にとり、観光などで遠くに出掛ける際は計画的な運転を宜しくお願い致します」

この日の気温は、もうすぐ30度に迫る猛暑。

参加者らは炎天下で額に汗をかきながらも、国道230号の両側二手に分かれ、啓発活動を約15分行いました。活動に南区長や南区役所職員の方皆さんもご参加くださいました。



間もなく、子どもたちは夏休みに入ります。藻岩地区の子どもたちを見守る「藻岩地区交通安全母の会」の皆さんも活動に参加し、「交通安全は家庭から」という横断幕を道路に向けています。母の会の会長である谷口充子さんに活動の意義を聞きました。



藻岩地区交通安全母の会の皆さん
中央が谷口充子会長

「母の会はやはり交通安全も家庭からと思っただけで、ご家庭から子どもたちを笑顔で送り出した後、地域全体で子どもたちを育てていく中でも、このような活動が見守りの役割を果たしていると思います。子どもたちは朝、学校へ行く時、放課後に家から外に遊びに出掛けたり、習い事に行くこともあると思います。日頃から、まわりの状況判断が出来るように交通のマナーを伝えていきたいと思います。」

今日の啓発活動への思いは？

「私たち見守り隊が立つことによつて、ちよつとした瞬間でも交通安全を気を付けようかなとか、スピードを交差点で落とさなきゃいけないとか、思っていただけならと思います」

約15分の啓発活動を終えた参加者らは再度集合し、締めあいさつを行いました。村上剛藻岩地区町内会連合会会長からは自身の経験をもとにした啓発のメッセージがありました。

.....

村上 剛 藻岩地区町内会連合会会長



「先日、私がいわ地区センターのエリアの中で体験したことを申し上げます。地区センターの駐車場から帰ろうと思つて出てきたときに、自転車置き場の方から子どもが急に出て来て、地区センターの中に入つていきました。駐車場なのでスピードも出していませんでしたが、5メートルほど前で止まることが出来たのですが、いつどこで事故が発生するか分かりません。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、私はその時に、地区センターの駐車場入口付近に「飛出し注意」の看板が2つ、道路側と駐車場側にあることに気付きました。皆さんにも駐車場から出る際など、今一度注意していただけたらと思います。

高齢者運転の事故も増えています。お互いに注意を重ねて、藻岩地区から事故死がないよう万全に運転していただけたいと思います。これはお願いです。よろしくお願ひ致します。

.....

最後に夏の交通安全啓発活動の開催に協力くださった南区交通安全運動推進委員会の高橋昌士事務局長に感想を聞きました。

南区交通安全運動推進委員会

高橋昌士事務局長



「藻岩地区の皆さんが本当に一生懸命、真摯に交通安全のことを考えていただき、本当に良い啓発活動だったと思つております。国道のある藻岩地区は交通量も多く、注意が必要ですが、また小さな道路や路地も子どもが飛び出しなど、どんな事故があるか分かりませんので、皆さまには決して、他人のことと思わないで、自分ごとの問題として、いつでも危険を察知し、それを避ける気持ちを持ち続けていただけたらと思います」

(文・写真：御手洗志帆 もいわ塾)



ホームページのご案内

- * ホームページの名称は 「もいわ暮らし」
- * ホームページアドレス(URL) <https://www.moiwa-area.com>
- * メールアドレス moiwa.area@gmail.com



QRコード

ホームページについてのお問い合わせ先

藻岩地区町内会連合会

〒005-0808 札幌市南区川沿8条2丁目4-15 もいわ地区センター内
電話/FAX (011) 572-9460 (広報部)

2024年
第55回もいわ夏まつり
にぎわいました！

もいわ地区の中でも一大イベントの一つ「もいわ夏まつり」をもいわ塾生3人が、準備編・まつり前半編・まつり後半編に分かれてそれぞれ取材しました。たくさんの方に協力いただき、無事開催ができた55回目の「もいわ夏まつり」の様子をお伝えします。(準備編は紙面の都合で掲載割愛)

第55回もいわ夏まつり開幕！
まつり前半編

2024年8月4日(日)午後1時から第55回「もいわ夏まつり」が開催された。お祭りを心待ちにしていた住民たちが会場である藻南公園の芝生広場を訪れた。

もいわ夏まつりは約8000〜1万人の来場者数があり、札幌の地区祭りとしては最も多くの来場者を誇る。

例年、夏まつりの日は雨か暑い日が多いと聞いたが、この日はくもりで気温も25度と過ごしやすい最高のお祭り日和となった。

芝生広場全面にわたり、多くのレジャーシートやテントが並んでいた。広場のステージでは地域のダンスや空手教室、フラダンスの発表、バンド演奏などが行われ会場は大いに盛り上がった。

色とりどりの垂れ幕が並ぶ出店では、焼き鳥や焼きそば、かき氷などの定番メニューからチュロス、電球ソーダなど20の出店が軒を連ね、どこも長い行列ができていた。フリーマーケットの出店もあり、買い物客で賑わっていた。

ステージ横では氷彫刻の実演が行われ、職人3人がチェーンソーや工具を用いて犬と鷺の見事な彫刻が手早く作り上げられた。

(文・写真 丹治美樹 もいわ塾3期生)



ファイナルは夏の夜空を彩る花火
「もいわ夏まつり」大盛況のもと閉幕
まつり後半編

もいわ地区の夏の風物詩「もいわ夏まつり」。午後1時から始まり、午後4時ごろには広大な藻南公園の芝がいつぱいになるほどシートを敷いて座る人や、簡易テントを張って楽しむ方で賑わいました。徐々に暗くなる中、風がすーっと通り抜ける、涼を感じるお祭りとなりました。

公園内には豊富な出店が立ち並び、長い列も出来ていましたが、どこも待ち時間は5分〜8分程度。焼きそば、和牛串、広島お好み焼き、チョコバナナやかき氷などお祭りの定番に加え、原宿クレープや容器が光るトロピカルジュースなど目で見

て楽しい飲食も多くありました。会場内の至るところで子どもたちがはしゃいで遊んでいました。カメラを向けるとポーズしてくれる子どもたちも。

午後4時30分からは夏まつりのメインイベントの一つ、ビンゴ大会が始まりました。その1時間前には、ビンゴ用紙は売り切れ。大勢のお客さんが1つ1つ発表される番号に耳を傾けていました。

また、午後7時からは大抽選会が

行われました。ビンゴ参加者が購入した用紙とセットでついてくる抽選券に氏名・住所を書いて応募した方が大抽選会に参加できます。ステージに上がった主催者らが抽選箱から抽選券を引き出します。沖繩在住の方が当選するなど、札幌市内外にお住いの方も夏まつりに足を運んでいただくことが分かりました。

運営スタッフ、ボランティアスタッフの方のスムーズな進行で、花火大会も時間通り始まり、間近で見ると大きな花火が大歓声が上がっていました。地域の方に愛され、楽しい雰囲気のお祭り。楽しい時間を過ごすことができました。

(文・写真 小池泰子 もいわ塾3期生)
 御手洗志帆(塾長アシスタント)



藻岩地区町内会連合会

第20回パークゴルフ大会

2024年9月15日は第20回パークゴルフ大会の日。小雨の降る中、早朝7時から南区常磐地区の東側にある、真駒内のパークゴルフ場「パークヒル真駒内」に大会主催役員が集合し、「藻岩地区町内会連合会第20回パークゴルフ大会」の開催決定と準備が始められた。

個人戦73名、団体戦15チームのエントリー。70〜80代の参加者が多い。若い人は50代、最高齢は89歳。昨年は90代の方も参加したそう。3連休の中日であるのに、参加者は昨年比べて10名ほどしか減っていない。腕に覚えのある人たちが、力試しに参加するため、例年レベルは高いそう。かつて1度だけ、12人がホールインワンを出した年があるそう。それ以来毎年ホールインワン賞を12個用意している。

8時には曇り空ながらも小雨はやみ、続々と集まる選手と主催者が開会式に臨んだ。町内会連合会の村上会長の挨拶、昨年優勝のパレス藻南公園自治会Aチームより優勝カップの返還、町内会連合会の鈴木部長よ

りルールの説明と続き、いよいよ各選手がスタート地点に向かって歩き出す。同体育部長の難波さんがコースの中央にホルンほどの大きさの拡声器を運び、スタートの号令をかける。

雨のため、コースを水かきしても、一部のコースには沼ができていて、コースを歩くと靴が濡れ、ボールも重くなる。難しい試合になりそうだ。自分のスタート地点が見つからない人を皆が誘導するなど、悪条件の中でも和やかに試合は始まった。

パークゴルフ大会、第1回の開催から携わる難波正利さんにお話を伺った。難波さんによれば、コースは当初、第5回目くらいまで盤渓や五天山で行った。その後、パークヒル真駒内での開催に落ち着き、15回ほど催されている。緩やかな丘で起伏が少なく、コースを一望できるので、誰もが挑戦しやすい。上級者にとっても、崖にボールを走らせてホールを狙う技を披露できる見せ場のあるコースがある。

昔、町内会連合会は藻岩小学校のグラウンドで運動会を催していたが、パークゴルフの人口が増えるにつれ、パークゴルフ大会に移行していった。開催当初は午前中で終了してい

たものの、選手の「物足りない！」の声を受け、交流の場となるようお弁当を準備し、試合後も親睦を深める場を設けるようになったそう。そして物足りない選手たちは、午後もプレーを楽しめるようになった。

また、現在の優勝カップは2代目だが、今は倉庫で眠っているそう。選手もさることながら、運営側もまた忙しい。選手の受付と参加料の受領。景品を並べる。木札にスコアを記入できる選手名入りの用紙を張り付け、チームごとに束にして重ねる。10時半頃お弁当が届くとチームの人数ごとにペットボトルとビニール袋をつけ、チーム名が書かれた紙を貼り、運びやすいように段ボールに詰める。スコアボードを外に掲示できるか、空とにらめっこをしながらの作業だ。選手がコースからあ

がってくる、各自木札にスコアを記入し、集計者に渡す。団体戦のスコアチェックした後、悩んだ末、結局外に掲示したスコアボードに担当者が男女別に上位の札を入れ替えて並べる。お弁当を配りながら、外で表彰式の準備を始める。預かったスタンプカードの返却。時には間違えて持っていたクラブの行方を捜

す。慣れているのか、皆手際が良い。どんどん選手がコースからあがってくる。試合は勿論のこと、お弁当も楽しみの一つ。チェーン店などではなく、地元で頑張るお弁当屋さんにお願ひする。魚・肉・野菜と揃ったボリューム満点のお弁当。早朝から体を動かす選手達の間から「お弁当が楽しみで！」の声がちらほら聞こえる。



◀優勝した川沿第一チーム



11時半頃、閉会式が始まる。先ほど短く降った小雨はもうあがっている。お弁当を食べている人も箸を休めて集まる。団体戦の優勝カップが川沿第一Aチームへ渡る。大会中止の年も含めて5年ぶりの奪還、7度目の優勝。そして個人戦の表彰。同

スコアの接戦が繰り広げられた。連合会ルールにより同点スコアの場合、年長者が上位となる。20回開催されているパークゴルフ大会で、今回初めてご夫婦でのペア優勝を果たした松木さんご夫婦。他に男女個人戦10位入賞に小野さん、笹森さん、西藤さん、鈴木さんご夫婦が続く。大会まで5組のご夫婦が、共に切磋琢磨する姿が思い浮かぶ。続いてブービー賞、ラッキー賞など次々名前が呼ばれていく。悪条件にもかかわらずホールインワン賞も昨年と変わらず4名。用意された景品は60個以上！上位者は複数もらう人もいるかもしれないが、30人くらいが何かしらの賞を貰えたのではないだろうか？

選手も主催者もめいっばい楽しむ姿を見ることができた。大会だった。

(文・写真：林里美 もいわ塾3期生)

成績は以下の通りです。

- ◆**団体戦**
- 優勝 川沿第一 A チーム
 - 準優勝 パレス藻南公園 A チーム
 - 第3位 中ノ沢 A チーム
 - 第4位 川沿中央第五チーム
 - 第5位 川沿中央第三チーム

◆**個人戦** 男性

- 優勝 松木勝紀さん
- 準優勝 小野真一さん
- 第3位 笹森敏久さん
- 第4位 西藤祐司さん
- 第5位 笹谷信夫さん
- 第6位 重岡幸也さん
- 第7位 鈴木光典さん
- 第8位 亀山喜代四さん
- 第9位 柏信夫さん
- 第10位 吉村安弘さん

◆**個人戦** 女性

- 優勝 松木照子さん
- 準優勝 笹森光子さん
- 第3位 小野政美さん
- 第4位 西藤貴美子さん
- 第5位 澤田郁子さん
- 第6位 久米ミサヲさん
- 第7位 正國ミチ子さん
- 第8位 島田美代子さん
- 第9位 宇佐美さだえさん
- 第10位 鈴木貞子さん

◆**ホールインワン**

- 笹谷信夫さん D-2 ホール
- 高谷和俊さん B-2 ホール
- 下村義憲さん D-2 ホール
- 大原康之さん B-3 ホール

令和6年
第2回理事会が
開催されました

※令和6年第2回理事会の概要を報告いたします。



(日時・会場)
令和6年10月18日
(金) 18:30~
もいわ地区センター
多目的ホール

(出席者)
村上会長ほか理事、役員等
(欠席者) 3名

議題

1. 令和6年度上期事業部活動報告
2. 連町もいわホームページ「もいわ暮らし」関連について

「令和6年度藻岩地区 もいわ伝え隊などによる地域の魅力発信事業」についての活動報告、今後の活動予定について

・もいわ塾三期生、塾生OBによる座学研修、実践研修についての活

動報告

今まで主に「もいわこの店」を中心に取材活動と掲載をしてきたが、町内会の活動をもっと知ってもらおう必要性から、町内会連合会関係の行事(もいわ夏まつり等)を主に取材対象として活動している。若い移住者の方も増えてきているので、子育てサロン関係の強化を目的としての活動もしており、子育てサロンマップの更新も予定している。

3. その他

- ・連町ホームページ「もいわ暮らし」のチラシリニューアル
町内会について若い人にも関心を持ってもらえるような情報も発信していく予定。
- ・ビレッジハウス川沿自治会の解散について7月31日をもって解散したことが報告された。
- ・会員数の減少と役員のなり手がいないことが理由。町内会数は27単町となった。
- ・町内会連合会においても会計部長が半年間空席のままであり、代理や兼務による事務員や役員の負担が増えている。

連絡事項

- ・ビレッジハウス川沿自治会についての解散について
- ・人選委員会の設置について
- ・町内会連合会行事への単町からの人員支援協力について
- ・令和7年度町内会連合会新年交礼会の中止について
- ・下期の町内会連合会行事予定(11/10輪投げ大会、11/13冬の交通安全街頭啓発、1/25〜1/26アイスキャンドル)

※取材後記

今回は意見交換が活発に行われ、通常より30分ほど閉会が遅くなったにも関わらず、片付けをしながらもまだ議題について話している町内会長さん達。

会議中に出てきた課題や問題のほとんどの原因は、役員や行事運営の「なり手不足」と思われました。これを解決するために、広報の仕方や町内会の活動の工夫など模索中の役員さん達。横のつながりも希薄な昨今、町内会への認識も地域や世代間で違うこともあり難しい課題であると感じました。

藻岩地区の理念は「気配り、目配り、心配り」の三配り。この三配り

を念頭に高齢者から若者までお互いに関心を持てる住みよい藻岩地区にしていきたいという熱い想いを村会長は話されました。

「まずは関心を持ってもらうこと知ってもらうこと」…この「もいわ暮らし」という連町ホームページは、そんな役員さん達の想いから始まったものです。その一助になればと思いつつ取材を終えました。会長はじめ理事会の皆様、ご協力ありがとうございました。

(もいわ塾3期生 篠原千恵)

第13回

もいわ輪投げ大会

輪投げ大会に参加しました

〜町内会連合会の恒例行事

2024年11月10日(日)、もいわ地区センターにて開催された「第13回輪投げ大会」に参加させていただきました。

9時〜12時頃まで約3時間の実施。子供から大人まで幅広い年代の72名の方が参加し、村上連合会会長から「おおいに楽しんでください」という言葉と共に大会がスタートしました。

予選では4ブロックに分かれ、各ブロック約6チームの総当たり戦を行い、各ブロック上位2チームが決勝に進みます。

事前の練習時間では多くの人が輪投げを成功させていましたが、試合開始直後、緊張からか多くの人が思ったように輪を入れられなくなっていました。

岩村連合会副会長、(自称「がんちゃん」)の「ゆつくりで大丈夫ですからね」という言葉から参加者の緊張感が払拭されたように感じます。

和気あいあいとした雰囲気の中試合は進み、気が付けば表彰式へ。決勝トーナメントへ勝ち進んだ上位8チームに、村上連合会会長から景品が授与されました。

大会終了後、「難しかったけど楽しかった」「お友達と来れて良かった」「見るのも楽しかった」などの言葉が聞けました。みなさん「また参加したい」と笑顔で話していました。

今回私も大会に参加させていただき、知り合いのほとんどいな状態でも、輪投げという身近で、意外と難しいゲームを通して人と人とが繋がれる素晴らしさを実感しました。次年度以降、さらに大会が盛り上がるって欲しいと願っています。

(文・写真:澤葉月紀 藻岩高校生)

もいわ塾3期生

成績表

優勝

きたのさわ(北ノ沢第三町内会)

準優勝

まつちーズ(川沿中央第五町内会)

第三位

すみっこ(川沿第四町内会)

連合会(藻岩地区町内会連合会)

敢闘賞

アイビーハイム藻岩A

(アイビーハイム藻岩町内会)

幸齢者トリオ(川沿第二町内会)

ことぶき(北ノ沢青葉台町内会)

白樺A(白樺町内会)



町内会・自治会だより

川沿第一町内会

日帰りバス旅行で

「ウポポイ」を訪ねました

「アイヌの暮らしと文化を体感」

9月18日(水)に日帰りバス旅行を行い、会員42人が参加して国立の民族共生象徴空間「ウポポイ」を訪ねました。

この日は秋晴れの素晴らしい天候に恵まれ、一行を乗せた「ばんけいバス」は午前9時前に藻岩北会館前を出発しました。

まず、白鳥などの飛来池として知られる「ウトナイ湖」の道の駅でひと休みした後、白老の徳寿ファーム直営レストラン「KANTO」で昼食、白老牛の「すき焼き御膳」に舌鼓を打ちました。

午後1時前に「ウポポイ」に到着しました。「ウポポイ」はアイヌ民族の歴史を伝承する「民族共生象徴空間」としてポロト湖畔に2020年に開設された国立の施設です。まず全員そろって「体験交流ホール」

でユネスコ無形文化遺産に登録された「アイヌ古式舞踊」や、伝統楽器「ムックリ」の演奏などを鑑賞しました。その後は自由行動でそれぞれ各施設を見て回りました。「アイヌ民族博物館」ではアイヌ文化をより深く知ることができました。アイヌ民族の伝統的な家屋(ヘチセ)を再現した「伝統的コタン」ではアイヌ民族の暮らしや文化、口承文芸などが紹介されていました。2時間半の滞在時間もアツとの間に過ぎ、3時半にウポポイを後にしました。

帰路の途中、輪厚パーキングエリアでひと休みした後、車中でアイヌを食べながら午後5時半前に藻岩北会館前に無事到着しました。一日中良い天気にも恵まれ、初秋の一日を満喫した旅行でした。



▶体験交流ホールでアイヌの伝統舞踊などを鑑賞

中ノ沢町内会 中ノ沢地区の5町内会による合同夏まつりが開催されました

中ノ沢地区の中ノ沢町内会・アイビーハイム藻岩町内会・中ノ沢希望ヶ丘自治会・アームズ虹が杜町内会・藻岩グリーンアヴェニュー壱番街町内会の5町内会による、合同夏まつりが、8月3日(土)午後5時から、中ノ沢会館の駐車場で開催されました。

夏まつり会場の中心には、高さ6メートル近くの3階建ての特設の櫓が建ち、周囲を周りながら、子ども盆踊りを皮切りに、大人盆踊りや仮装盆踊りで、終了の午後8時まで大いに盛り上がりましました。

また、櫓の上では、この日のために、5町内会の子ども達が、約1カ月練習した太鼓を



披露。大人の盆踊りでは、町内会の高校生、大学生も太鼓に参加して、夏の夜空に太鼓の音が響きわたりました。

このほか、今年も、キッチンカーが4台出店し、今回は新たに地元の新鮮なお野菜を販売して大変盛況でした。

この夏まつりは、中ノ沢地区の住民の夏の風物詩になっております。5町内会の役員の皆様も、高齢にはなりましたが、ふるりの盆踊りを大切にして、後継者に引き継げるように皆さん、頑張っております。

これからも、こども達の笑顔を楽しみに、この中ノ沢地区のすばらしい地域を守っていきたくと各町内会の皆さんと話しながら、なかよく今年も夏まつりを楽しみました。

皆さんも、来年は是非、合同夏まつりに参加してみませんか。

編集後記

今年も残すところわずかととなりました、今年も、国内で地震・洪水と自然災害の多い年ではありましたが、藻岩連町の行事を、無事に終了することができました。皆様のご協力に、心より感謝申し上げます。

(編集部)